

空間プロテオーム解析が拓く、 新しい研究の可能性

11月27日 Fri 2026年

受付開始 終了
13:30~16:30

＼ こんな方におすすめ ＼

空間プロテオーム
解析に興味がある方

空間解析を
これから研究に取り入れたい方

MACSima®を用いた空間解析・受託解析に興味がある方

空間解析に必要な装置・抗体・試薬について知りたい方

自身の研究への活用方法や解析について専門家に相談したい方

会場

愛知県名古屋市

ウインクあいち

1102会議室

参加費

無料

内容

▶ 13:45-14:15

MACSima® Platform: 1つの組織切片に対して200種類を超えるマーカー検出を可能にする空間生物学解析プラットフォーム

ミルテニーバイオテック株式会社 MACS Service部 田原秀俊 氏

▶ 14:15-14:45

マルチプレックス空間プロテオミクスを受託サービスでお気軽に

KOTAIバイオテクノロジーズ株式会社 代表取締役 山下和男 氏

▶ 14:45-15:15

オプトプロテオミクス: 疾患と関連する部位における網羅的な空間プロテオミクス

株式会社スクラム オミックス・ソリューションズ リーダー 永井隼斗 氏

▶ 15:15-16:30

ポスター&個別相談

各社のポスターをご覧いただきながら、技術や製品について直接ご質問いただけます。
ご自身の研究への導入や解析についての個別相談も可能です。

アクセス

愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38
ウインクあいち（愛知県産業労働センター）11階 会議室（1102）



JR名古屋駅 桜通口から徒歩5分
ユニモール地下街 5番出口から徒歩2分

お申し込み

2次元バーコードを読み取るか、下記URLよりお申し込みください。

<https://cahc.seminarone.com/spatial-proteomics/event>

参加申込期間

2026年10月26日(月) 00:00 ~ 2026年11月27(金) 00:00

定員

50名



演題 1



ミルテニーバイオテック株式会社
MACS Service部

田原 秀俊 氏

MACSima® Platform：1つの組織切片に対して200種類を超えるマーカー検出を可能にする空間生物学解析プラットフォーム

MACSima Platformは、サンプル測定からデータ解析までの全てを網羅する空間生物学解析プラットフォームです。MACSima Platformの中核となるMACSima System®は、免疫蛍光染色、イメージング、蛍光消去のサイクルの繰り返しにより、200種類以上のマーカーを単一細胞レベルで検出する完全自動型マルチプレックスイメージャーです。MACSima Platformの解析ソフトウェアであるMACS® iQ View – Spatial Biologyは、得られた画像データの高精度な細胞セグメンテーションを実現し、マーカー発現に基づく細胞表現型解析、ゲーティング解析による細胞集団の分類・抽出、さらにはUMAP、t-SNEなどを用いた高次元データの可視化を可能にします。本セミナーでは、MACSima Platformの実用的な使い方を、画像データの解析例を用いてご紹介いたします。

演題 2



KOTAIバイオテクノロジーズ
株式会社 代表取締役

山下 和男 氏

マルチプレックス空間プロテオミクスを受託サービスでお気軽に

免疫染色法として組織内のタンパク質を検出するために一般的に使用されるIHCやIFでは同時に染色できる抗体数に限界があり、様々な細胞種や表現系を同時に検出することが課題です。Miltyeni Biotech社のMACSimaは多数の抗体染色を可能にしたマルチプレックス空間タンパク質解析プラットフォームの一つであり、600種類を超える検証済み抗体と解析ソフトウェアまで一貫したサポートが魅力です。ただ、それでも本体機器のコストや使用頻度、多数の抗体の購入コストなどを踏まえると、研究室単位での導入や実施にはハードルが高いのも事実だと思われます。そこで、KOTAIバイオテクノロジーズは、マルチプレックス空間タンパク質解析をより気軽に研究者の皆様に使っていただけるよう、MACSimaを用いた受託サービスを展開しております。専門性が高く、豊富な経験を有するスタッフによるサポートと、始めやすいコスト感に加え、近年注目を集めている空間的遺伝子発現解析と組み合わせた高度なアプリケーションも提供可能です。本セミナーでは当社の受託サービスの内容と使い方、事例をご紹介いたします。

演題 3



株式会社スクラム
オミックス・ソリューションズ
リーダー

永井 隼斗 氏

オプトプロテオミクス：疾患と関連する部位における網羅的な空間プロテオミクス

顕微鏡で興味深い構造や病変部位が「見えている」にもかかわらず、そこにどのようなタンパク質が存在し、どのような機能を担っているのかを網羅的に解明することは容易ではありません。本発表では、この課題を解決するSyncell社の空間プロテオミクス技術「Microscoop Mint」を紹介します。本技術は、顕微鏡を用いて、特定の細胞集団、細胞間接触部位、オルガネラ、凝集体などの関心領域(ROI)を選択し、そこに存在するタンパク質を光活性化型ビオチンプローブで選択的に標識します。標識タンパク質をLC-MS/MSで解析することで、あらかじめ候補分子を設定することなく、「場所を起点とした未知タンパク質の探索」を可能にします。神経変性疾患、がん、免疫、代謝、感染症など幅広い領域で、疾患機序の解明、新規バイオマーカー探索、創薬標的の発見を加速する新たな研究プラットフォームとしての可能性を紹介します。